

# 老後に備える

連載 第2回

老後とはいついつから始まるのでしょうか。  
仕事から引退したとき？  
それとも年金を受給するときからでしょうか？  
老後に対するイメージは人それぞれですが、  
いずれ誰にもやってくる老後の生活。  
それが遠い未来の人も、近い将来の人も、  
身近なテーマとして考えてみませんか。  
今回は、病気や怪我への経済的な備えとしての  
医療保険について考えてみましょう。

## 自分に合った医療保険を調べる

人は年齢を重ねると健康への不安が募るものです。病気や怪我で長期的な治療が必要となり医療費がかさむかもしれません。

現在は、生命保険会社や損害保険会社、共済などが、さまざまなタイプの医療保険を用意しています。ただ、自分のニーズに合った保険商品かどうかはなかなか見極めにくいもの。今回は、医療保険を選ぶ際の3つのチェックポイントをお知らせします。

### チェックポイント①

#### 保険料の払込期間と保障期間を考える

医療保険には、大きく分けて、生涯保障が続く「終身型」と、一定期間だけを保障する「定期型」があります。保険料を何歳まで払い続けるつもりか、何歳まで医療保障でカバーしたいのかをまず考えましょう。

### チェックポイント②

#### 保障内容を見極める

保障内容の基本は、「入院」と「手

	終身型	定期型
保障期間	一生涯	5年、10年など一定期間
保険料	・保険料はずっと一定 ・保険料を生払い続けるものや、65歳など一定の年齢までに保険料の支払いを済ませるものがある	・保障内容が同じであれば、一般的に終身型よりも保険料が安い ・期間が終了してあらためて契約を更新する場合は、更新時の年齢に応じて保険料が上がる
留意点	・加入年齢によっては保険料が割高なこと ・若いときに契約した場合、医療技術の変化に対応できていないおそれがある	・更新が80歳までなどと、年齢の上限が決まっている場合が多い

術」です。入院給付金は、1日に受け取れる金額（5千円、1万円が多い）に所定の入院日数をかけた金額となります。ただし、5日間以上の入院にして給付金が出る契約では、仮に1〜4日間で退院すると給付金は支払われません。また、支払限度日数にも注意しましょう。現在は1入院60日までの商品が多いようです。

手術給付金は、病気や怪我で所定の手術を受けた時、1回につき入院給付金（日額）の10倍・20倍・40倍などの金額を受け取れます。どんな手術を対象としているかを約款などで丹念に

### チェックポイント③ どんな特約があるか

医療環境の変化とともに、多様な特約が用意されています。例えば、がんなどの特定の病気になったときに一時金が出る特約、身体障害、要介護状態になったときに以後の保険料が免除になる特約などがあります。最近では、先進医療費を保障する「先進医療特約」への関心が高くなっているようです。

### 情報収集が欠かせない

大切なのは、余分な保障を抱え込まないことです。保障が多いと保険料もかさみます。

最近では、複数の保険会社の商品を通して、顧客にあったアドバイスをする店舗型のサービスがあります。また、インターネットで自分にふさわしい保険を選び、保険料を簡単にシミュレーションできるサイトも増えています。いろいろな角度から情報を集めて、ご自身に最適な保険商品を選ぶよう心がけましょう。